



昭和23年創刊

住宅新報

2014年12月23日号(平成26年)第3396号週刊

「エンディングノート」で 高齢者の将来設計手助け

プランナー養成で講座

遺品整理士認定協会の関係団体、一般社団法人エンディングノートプランナー養成協会(北海道千歳市、木村榮治理事長)はこのほど、高齢者の将来設計・ライフプランを手助けする専門家「エンディングノートプランナー養成講座」を開講した。

エンディングノートは、「遺品整理で面倒をかけたくない」「入院や介護など、もしものときの希望を家族に伝えたい」「自分が亡くなったあとの希望を聞いてもらいたい」との理由で、数年前から全国的に認知されるようになったが、実際に書いている人はまだ数%に過ぎないという現状がある。

同協会では、エンディングノートプランナーを高齢者の

身近なところで「家族への思いを形にする」「将来設計への利用を周知する」役割を担う、地域に貢献する資格者と位置付け、主婦や高齢者にも幅広く挑戦してもらいたいという。講座の教材は教本とDVD、問題集、資料集で受講期間は3カ月(目安)。受講料(入会金)は2万5000円、会費は5000円(2年間有効)。誰でも受講できる。